このたびは、岩手ケーブルテレビジョンのインターネット接続サービス「ICTNET」へお申し込みいただき、誠にありがとうございます。

本マニュアルは皆さまに快適なインターネットライフをお楽しみいただく上での設定例・確認事項などが記載されておりますので、よくお読みいただき、いつでも参照のしやすいところへ保管してください。

確認とお願い

１．昨今、インターネット上はウィルスの蔓延が進んでおります。ケーブルモデムとパソコンをLANケーブルで接続する前に、必ずウィルス対策作業を行ってください。ウィルス対策を行っていないパソコンを接続すると、ウィルスに感染する場合がありますので十分にご注意下さい。

２．本マニュアルによる設定をはじめられる前に、ご使用のLANカードまたはLANアダプタをパソコン本体へ、LANカードまたはLANアダプタに付属の取扱説明書などをご参照の上、正しくインストールしてください。

３．本マニュアルの「TCP/IP」の設定は一例です。LANカードまたはLANアダプタにより表記が異なりますので、ご使用のLANカードまたはLANアダプタに付属の取扱説明書などをご参照の上、読み替えて作業を進めてください。

４．Windowsのバージョン（98,98SecondEdition,Me,2000など）によりましては、LANアダプタまたはLANカードのドライバをバージョンアップする必要が生じる場合があります。あらかじめパソコン本体または周辺機器の製造メーカー、販売店、ホームページなどでご確認いただき、最新のものをご利用ください。

５．お客様へのIPアドレスはDHCP方式により任意に配布されており、お客様のパソコンが利用するIPアドレスは随時更新されます。お客様のパソコンが利用しているIPアドレスを控えるなどの方法によりIPアドレスを固定してのご利用をされますと他のお客様に影響をおよぼしますので、IPアドレスを固定してのご利用は決してなさらないようお願いいたします。

６．スーパー並びにスーパープラス(多チャンネルサービス同時加入時)コースにご加入のお客様で、ケーブルモデムにパソコンを２台以上接続してご利用される場合は、別途ブロードバンドルーター等を電気店等でご購入下さい。「パソコンの接続台数」とはケーブルモデムに接続されるまたはその可能性のあるパソコンの台数であり、同時にインターネットに接続する台数ではありません。上記コースで複数台のパソコンを交互に接続されますと、IPアドレスの割り付けがうまくいかずインターネットに接続できなくなる場合がありますのでご注意下さい。

７．保守(メンテナンス)情報、障害報告はホームページ並びにメールでご案内致しております。

はじめに

ケーブルテレビのインターネット接続とは？

◆CATV回線網を利用しております。

ケーブルテレビインターネットとは、電話回線の代わりにケーブルテレビの光ファイバーケーブルとメタルケーブル（同軸ケーブル）を利用したインターネット接続サービスです。

ケーブルテレビ局各社が独自に構築したケーブルテレビ網（伝送路）は、テレビ番組の配信に使用しています。この伝送路は双方向の通信にも対応しており、テレビとは別の周波数帯を利用してインターネットもできるようにしたものです。

もともと大容量のデータ伝送を必要とする映像配信のために構築された伝送路設備ですから、インターネットのデータ通信にも対応可能です。

◆常時接続・定額料金

CATVインターネット接続サービスの特徴は、独自のケーブルテレビ網（伝送路）を使用して行うため、従来の電話回線によるインターネット接続サービスとは異なり、電話料金が一切かかりません。

今までは、「プロバイダ料金」、「電話料金」と２種類の費用がかかっていましたが、ケーブルテレビのインターネット接続サービスでは、１日２４時間いくら利用しても安心の定額料金となります。

◆電話回線を使用しないインターネット接続

ケーブルテレビの配線を利用してインターネットすると言うことは、電話配線を一切さわる必要がないということです。

建物内の電話配線は、電話以外の目的（ホームセキュリティやカメラ付きインターフォン等）で使われている場合がありますが、その場合ADSLインターネットが、そのままでは使用できないこともあります。

しかしケーブルテレビインターネットなら、電話配線を使用しないので全く問題ありません。当然、ISDN回線のままでも問題なくご利用いただけます。

ケーブルモデムについて

◆ケーブルモデム

電話回線による既存のインターネット接続の場合は、パソコンはもちろん、モデムまたはターミナルアダプタもお客様自身で購入し、電話線と接続・設定されていたかと思います。
ケーブルテレビでのインターネット接続の場合、ケーブルテレビ網（伝送路）を利用して通信を行うため、当社から専用のケーブルモデムを貸し出し、これを利用して通信を行います。
（ケーブルモデムの使用料は月々の利用料金に含まれております。）

◆基本的な取り扱いについて

・ケーブルモデムに別のパソコンやLANカード・無線LAN等の周辺機器を新たに接続する場合は、ケーブルモデムの電源を一度抜き差しして、CABLEランプが点灯し、CABLE側がリンクした後にパソコンや周辺機器の電源を投入してください。
・雷が近づいてきたら、ケーブルモデムの電源とLANケーブルを外してください。
・同軸ケーブルから、雑音が入ると通信が行えなくなります。お客様自身が同軸ケーブルを外したり、同軸ケーブルを継ぎ足したり絶対にしないでください。
・パソコンとケーブルモデムの設置場所が離れてしまう場合は、LANケーブルを延長するか無線LANをご使用下さい。
・ケーブルモデムをテレビやラジオに近づけて使用されますと、受信障害を引き起こすことがありますので、離れた場所に設置してください。
・精密機器ですので、湿気や埃の多い場所、直射日光のあたる場所へは設置しないでください。風通しの良い場所へ設置してください。
・ケーブルモデムへは、常時電源を供給してください。
・ケーブルモデムはお客様へ貸し出しているものです。貼ってあるシールをはがしたりせず、大切にお取り扱い下さい。

お客様の作業

◆お客様の作業について

ケーブルモデムの取り付けは当社がお客様のお宅へお伺いし行います。その際、ケーブルモデムが正常に動作しているかの確認をいたします。
当社で行う作業はケーブルモデムの設置までです。（岩手ケーブルテレビジョンとお客様との責任分界点はケーブルモデムのイーサネットコネクタです。）
ケーブルモデムが正常に動作しているのを確認させていただきますと、それ以降（LANボードの取付や設定、ケーブルモデムとパソコンの接続やパソコンの設定）はお客様でご準備いただき、お客様で設定いただく作業となります。
お客様側で設定が出来ない場合、別途パソコンのインターネット設定を有料にて行っておりますので、その際は当社までご相談下さい。

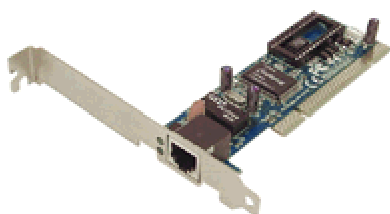
接続するために必要なもの

　ケーブルテレビインターネットに接続するには、以下に示すものが必要です。
　お客様にて、ご準備願います。

・　パソコン等の端末機器
・　LAN ボードまたは LAN カード
　　(10Base-T イーサネットに接続できるもの。
　　 10Mbps 超の高速サービス利用の場合は 100Base-TX 対応のもの)
・　LAN ケーブル（ストレート）
・　インターネット接続用のソフトウェア（TCP/IP ソケット、ブラウザ、メーラーなど）

◆LAN ボード・カード、USB-LAN アダプタ

　パソコンによっては、既に組み込まれている場合がありますので、ご自分のパソコンの取扱説明書などでご確認の上、必要に応じご自分のパソコンのスタイルに合わせてご用意下さい。
　LAN ボード等のドライバインストールにつきましては、各パソコン、LAN ボード等のマニュアルに従ってインストールしてください。



▲LAN ボード
（主にデスクトップパソコンに 使用します）



▲LAN カード
（主にノートパソコンに使用します）

◆LAN ケーブル（10/100Base-TX イーサネットケーブル）



▲LAN ケーブル（ストレートケーブル）
カテゴリー５以上、RJ-45 コネクタのもの

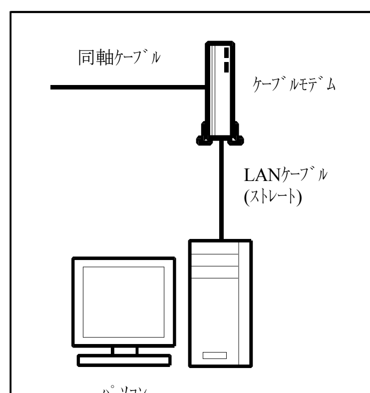
◆インターネット接続用のソフトウェア

Internet Explorer、Netscape Communicator 等ですが、これらのソフトウェアはパソコンに標準で搭載されている場合がほとんどです。

※機器類は形状などを参考とするために一例を示したものであり、機能的動作を保証するものではありません。
※LAN ボード（LAN カードまたは USB-LAN アダプタ）のインストールにつきましては、各パソコン、LAN ボードのマニュアルに従ってインストールしてください。
（パソコンによっては、既に LAN ボードが組み込まれている場合があります。）

◆ケーブルモデムとパソコンの接続方法

ケーブルモデムはコース毎に、ライト及びレギュラーは同時に８台まで、スーパーは１台のパソコンがインターネットに接続できるようになっております。
下図のように、ケーブルモデムとパソコンを（ストレートケーブル)ケーブルで接続します。



パソコンを２台以上つなげる場合に必要なもの（ライト及びレギュラーコースの場合）

◆ハブ(10Base-T もしくは 100Base-TX イーサネットケーブルを接続できるもの)



▲ハブ(10Base-T もしくは 100base-TX 対応のもの)

パソコンを２台以上つなげる場合に必要なもの（スーパーコースの場合）

◆ブロードバンドルーター(100Base-TX 対応のもの)



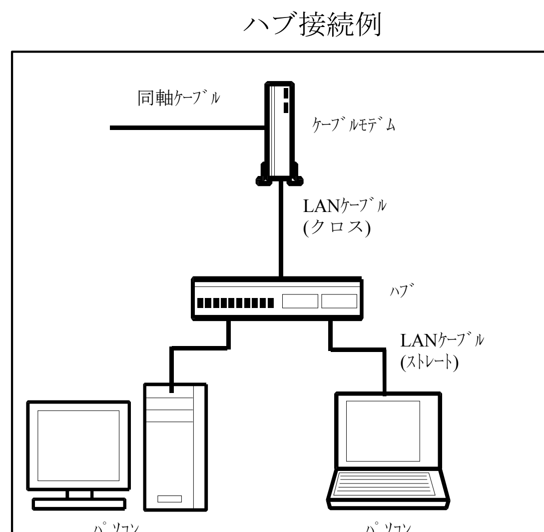
▲ブロードバンドルーター

※機器類は形状などを参考とするために一例を示したものであり、機能的動作を保証するものではありません。
※ハブやブロードバンドルーターのご利用また設定方法に関しては自己責任にてお願いします。

◆ハブを使った接続方法

ライト並びにレギュラーコースでは、イーサネットハブをご用意頂く事により最大８台までのパソコンを同時にインターネット接続できます。

ハブ接続例



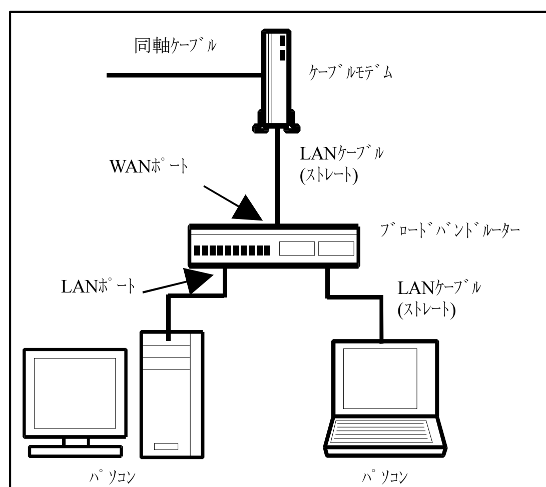
● ケーブルモデムとハブを接続する際、ＬＡＮケーブルはハブの切替スイッチのあるポートに差し込むことを推奨いたします。接続に際して不明な点がありましたらハブの販売店などにお問い合わせください。
● 各パソコンの設定は、１台で接続する場合と変わりません。
● ハブの機種によっては、ケーブルモデム－ハブ間の LAN ケーブルはストレートでも使用可能な場合があります。

◆ブロードバンドルーターを使った接続方法

スーパーコースの場合、ブロードバンドルーター等を用いることで複数台のパソコンを同時にインターネットへ接続することが出来ます。また、ルーターには外部からの不正侵入を簡易的に防ぐNAT機能が付いておりますので、ライト並びにレギュラーコースをご利用の場合もセキュリテイー強化の目的でご利用出来ます。

※ ルーターのご利用に際してはネットワーク設定が必要となりますが、設定方法及び接続できないなどの問題につきましては当社のサポート対象外となりますので予めご了承願います。

ブロードバンドルーター接続例



● ブロードバンドルーターをご利用されますと、ブロードバンドルーターの持つローカルＩＰでの接続となりますので、ネットワークゲームなど一部ご利用頂けないサービスが発生する場合があります。
● ルーターはＣＡＴＶ対応の機種であればご利用いただけます。
（ＩＳＤＮ用の機種はご利用頂けません。）
● ルーターのＷＡＮ側はＤＨＣＰサーバを参照する設定としてください。
● ブロードバンドルーターの設定によっては、「インターネット接続セットアップガイド」の設定があてはまらなくなる場合があります。設定に関しては、ブロードバンドルーターのマニュアルに従って設定してください。

その他

「インターネット接続セットアップガイド」は、お客様のパソコンにLANボード（LANカード）が既に組み込まれており、設定が完了していることを前提に説明しております。

既にLANボードが組み込まれてあるタイプのパソコンでも、工場出荷時の状態でLANボードが認識されていない場合がありますので、パソコンの取扱説明書を参照の上設定を行ってください。

購入時すでにWindowsXPが搭載され、かつLANアダプタが最初から内臓されているパソコンをお使いの場合は「ＴＣＰ／ＩＰの設定」は必要ありません。「ブラウザの設定」から設定を始めて下さい。

Windows98/Me/2000からアップデートしたWindowsXPをお使いの場合又は、購入後にLANアダプターを追加したパソコンの場合はTCP/IPの設定から行って下さい。

ＴＣＰ／ＩＰの設定

WindowsXPのネットワーク設定をはじめられる前に、ご使用のLANカードまたはLANアダプタが正常にインストールされていることを必ずご確認ください。

LANボード(カード)の取付・設定方法等は、製品に付属の取扱説明書をご参照ください。

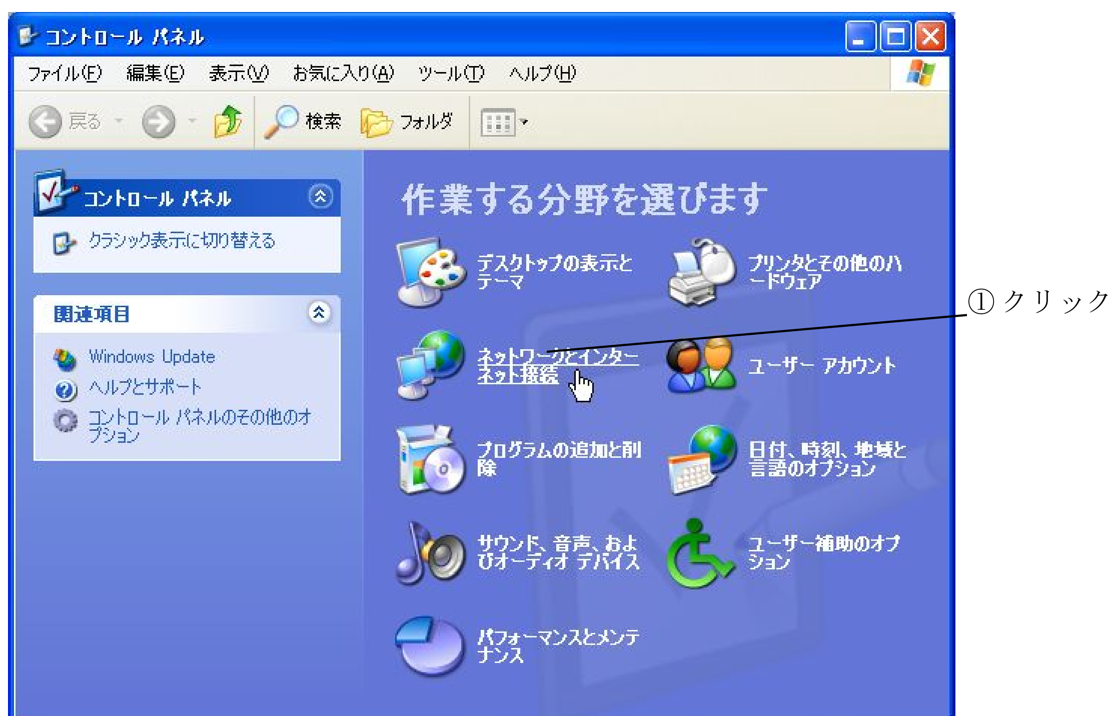
1．「スタート」ボタンをクリックします。



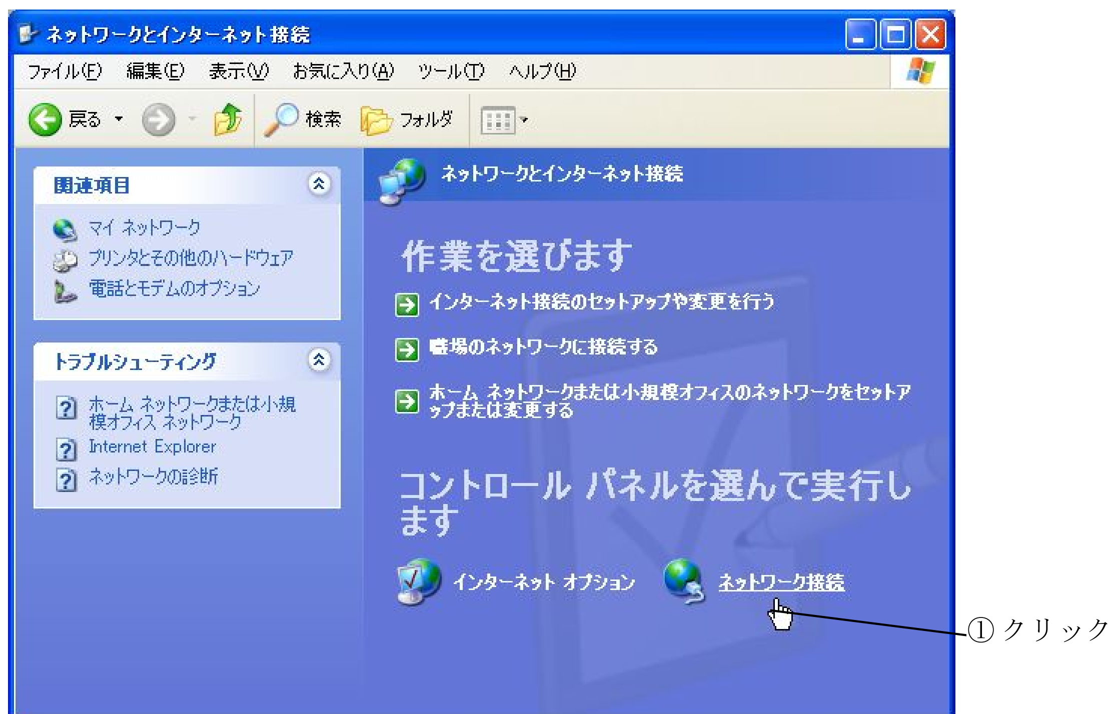
2．「コントロールパネル」を選択し、クリックします。



３．「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



４．「ネットワーク接続」をクリックします。



5．「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ(R)」をクリックします。

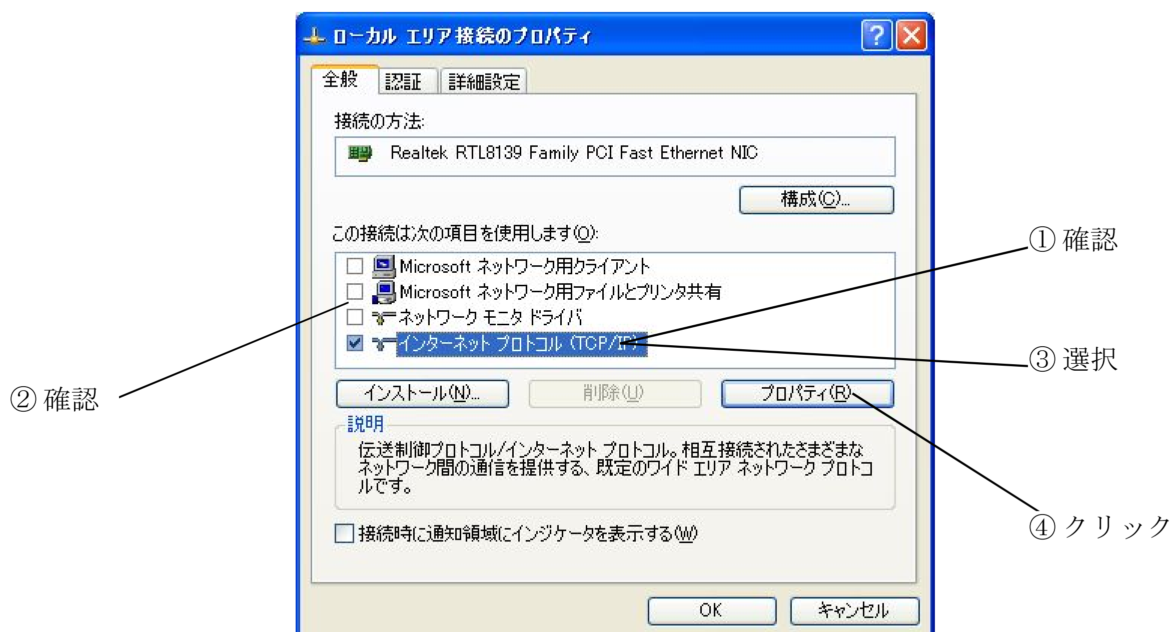


6．「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で「全般」のタブをクリックします。

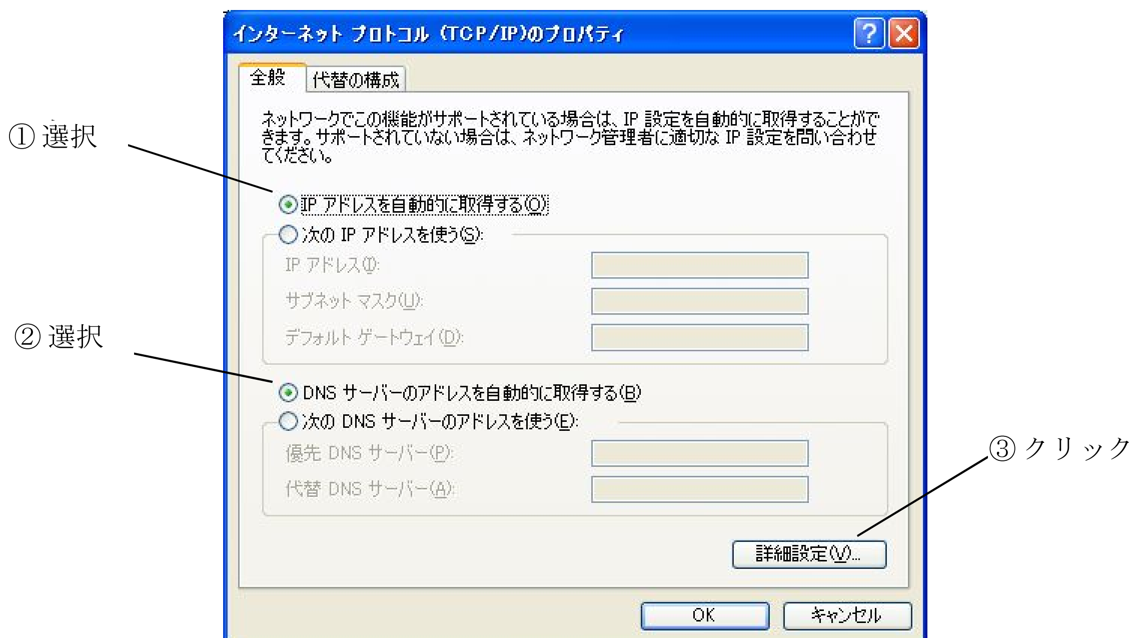
「この接続は次の項目を使用します(0)」の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」にチェックが入っていることを確認します。

「この接続は次の項目を使用します(0)」に必要としない項目がある場合は、項目のチェックをはずしてください。

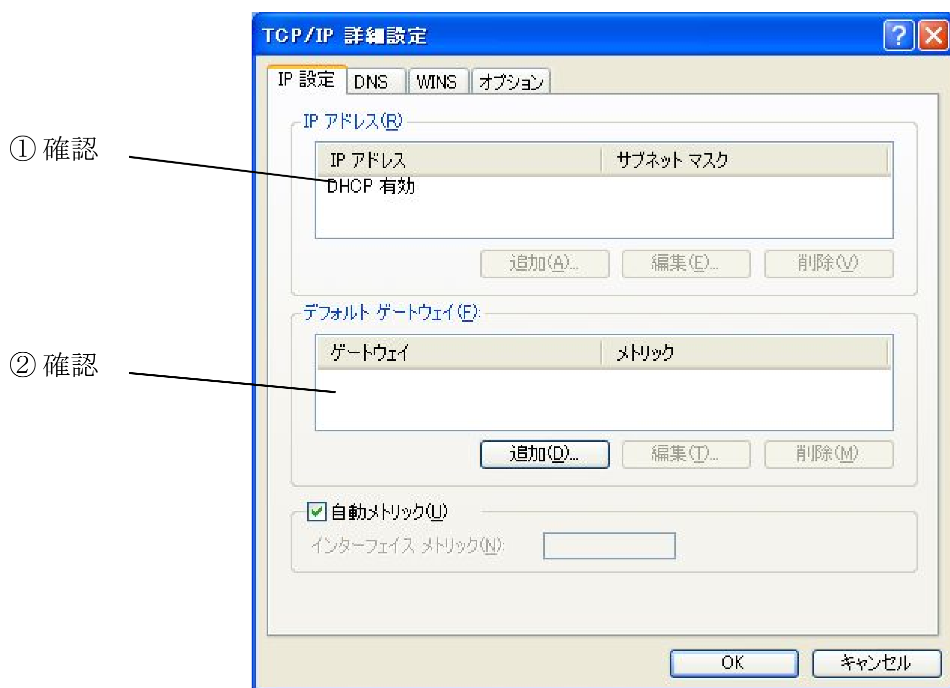
「この接続は次の項目を使用します(0)」の「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。



7．「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面で「全般」のタブをクリックします。
「IP アドレスを自動的に取得する(O)」、「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)」が選択されているのを確認し、「詳細設定(V)」をクリックします。



8．「TCP/IP 詳細設定」画面で「IP 設定」のタブをクリックします。
「IP アドレス(R)」にて「DHCP 有効」となっていることを確認します。
「デフォルトゲートウェイ(F)」が空欄になっていることを確認します。



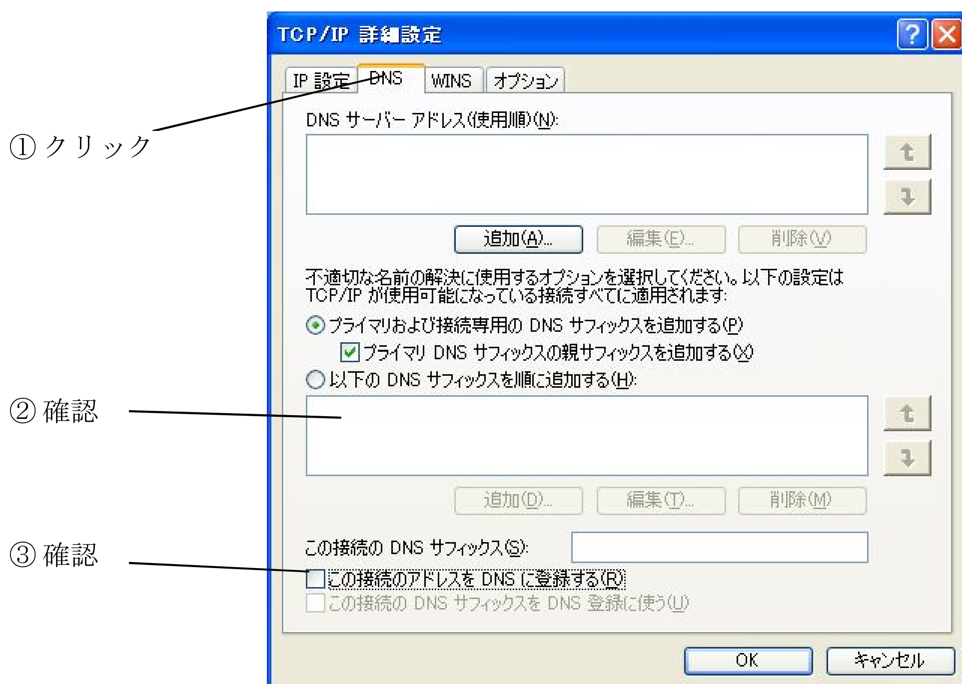
「DNS」のタブをクリックし、「DNS」の設定を確認します。

「DNS サーバーアドレス（使用順）(N)」が空欄となっていることを確認します。

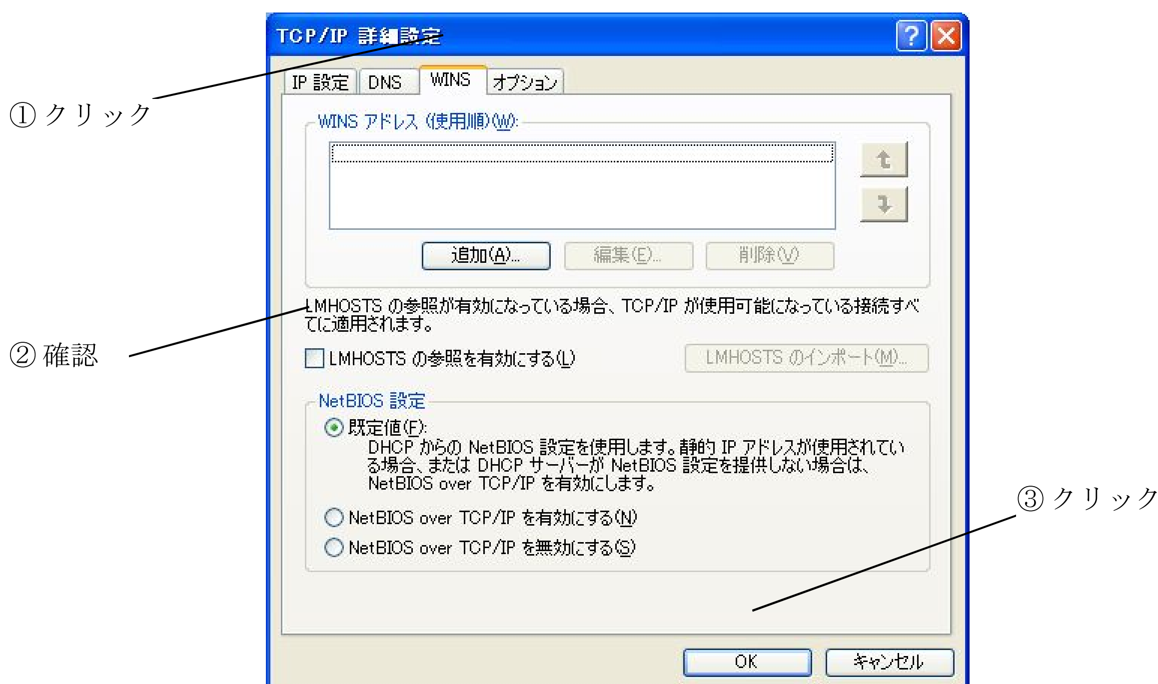
「以下の DNS サフィックスを順に追加する(H)」が空欄となっていることを確認します。

「プライマリ DNS サフィックスの親サフィックスを追加する(X)」にチェックが入っていることを確認します。

「この接続のアドレスを DNS に登録する(R)」のチェックがはずれていることを確認します。



「WINS」のタブをクリックし、「LMHOSTS の参照を有効にする(L)」のチェックをはずします。



以上で「TCP/IP」の設定は完了です。

ブラウザの設定

WindowsXP のネットワーク設定をはじめられる前に、ご使用の LAN カードまたは LAN アダプタが正常にインストールされていることを必ずご確認ください。

１．「スタート」ボタンをクリックします。

①クリック



２．「コントロールパネル」を選択し、クリックします。

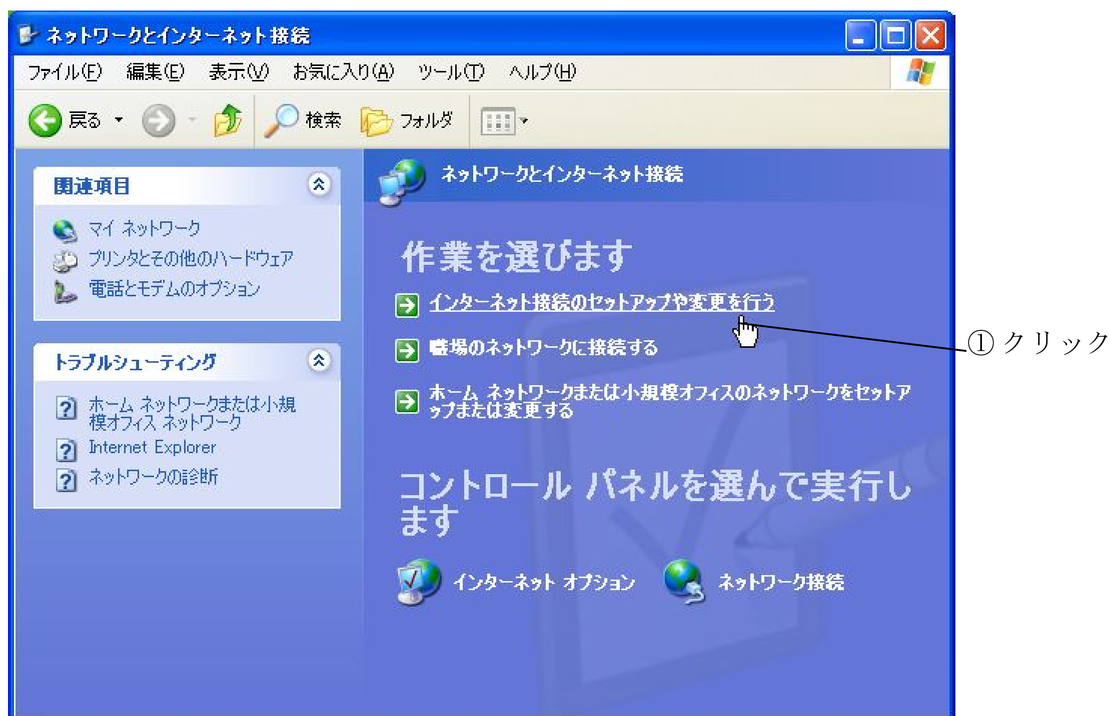


①クリック

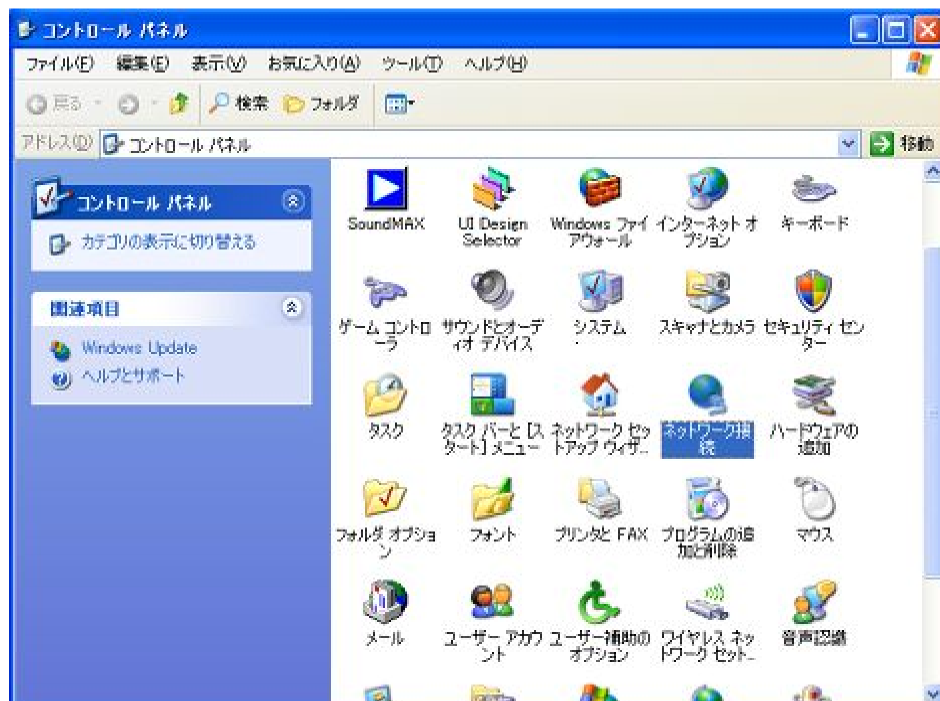
3．「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



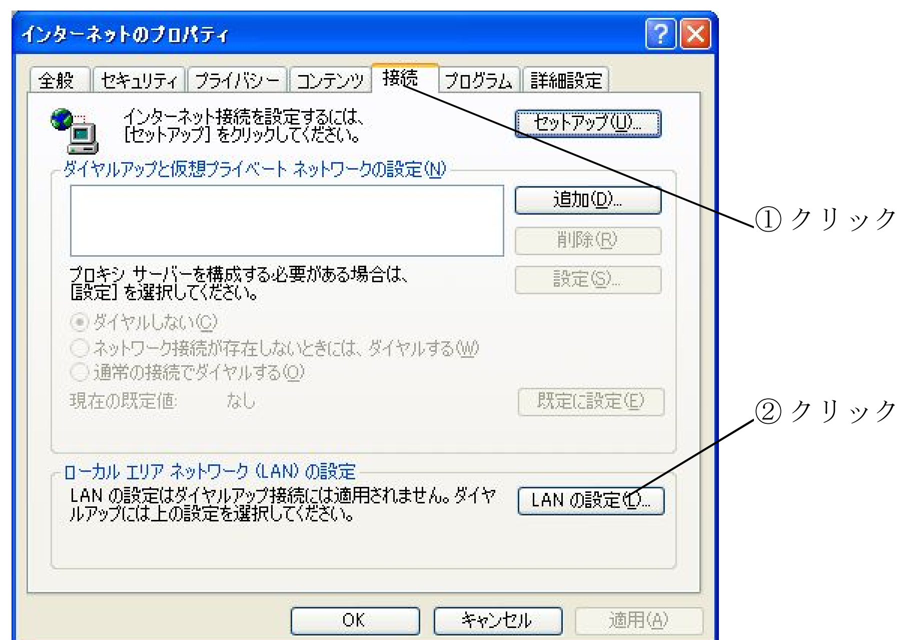
4．「インターネット接続のセットアップや変更を行う」をクリックします。



※「コントロールパネル」がクラシック表示の場合は「ネットワーク接続」をクリックします。



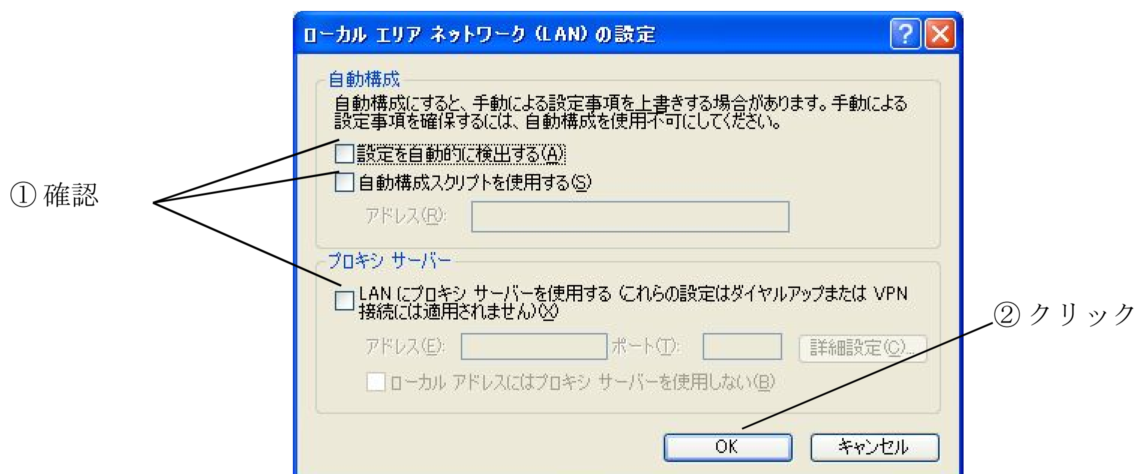
5．「インターネットのプロパティ」画面で「接続」タブをクリックし、「LAN の設定(L)」をクリックします。



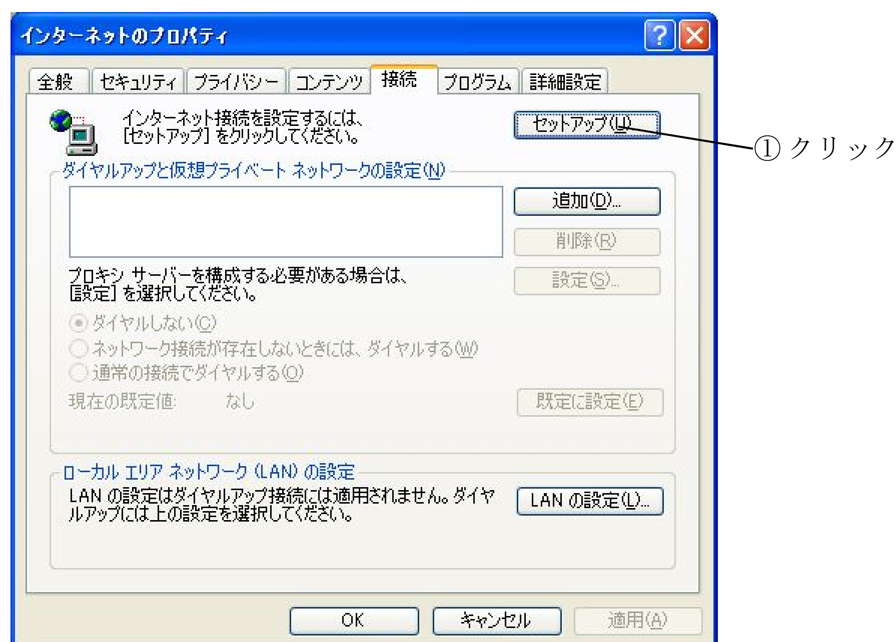
6．「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面で、「自動構成」の「設定を自動的に検出する(A)」、「自動構成スクリプトを使用する(S)」、「プロキシサーバー」の「LAN にプロキシサーバーを使用する(これらの設定はダイヤルアップまたは VPN 接続には適用されません(X))」の３つすべてのチェックボックスにチェックが入っていないことを確認します。

初期設定では「設定を自動的に検出する(A)」にチェックが入っていますので、必ずチェックをはずしてください。

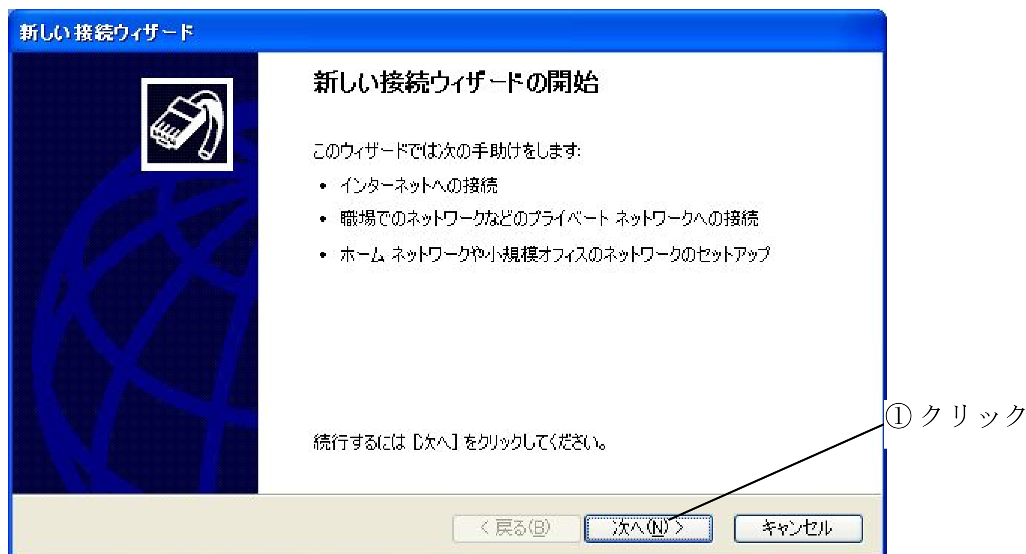
確認が終わったら、「OK」をクリックします。



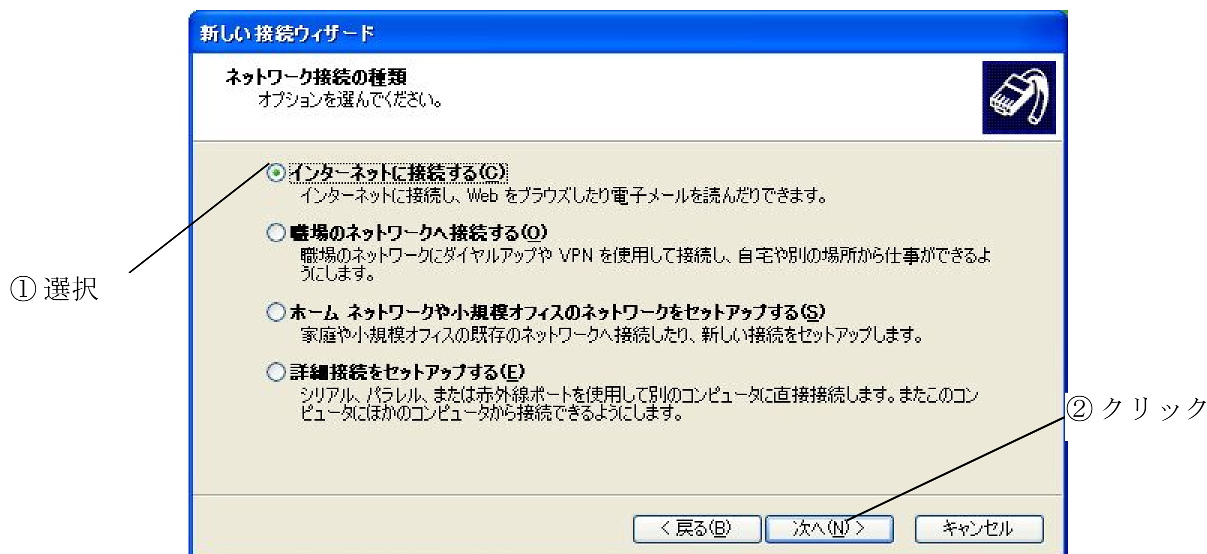
7．「インターネットのプロパティ」画面に戻ったら、「セットアップ(U)」をクリックします。



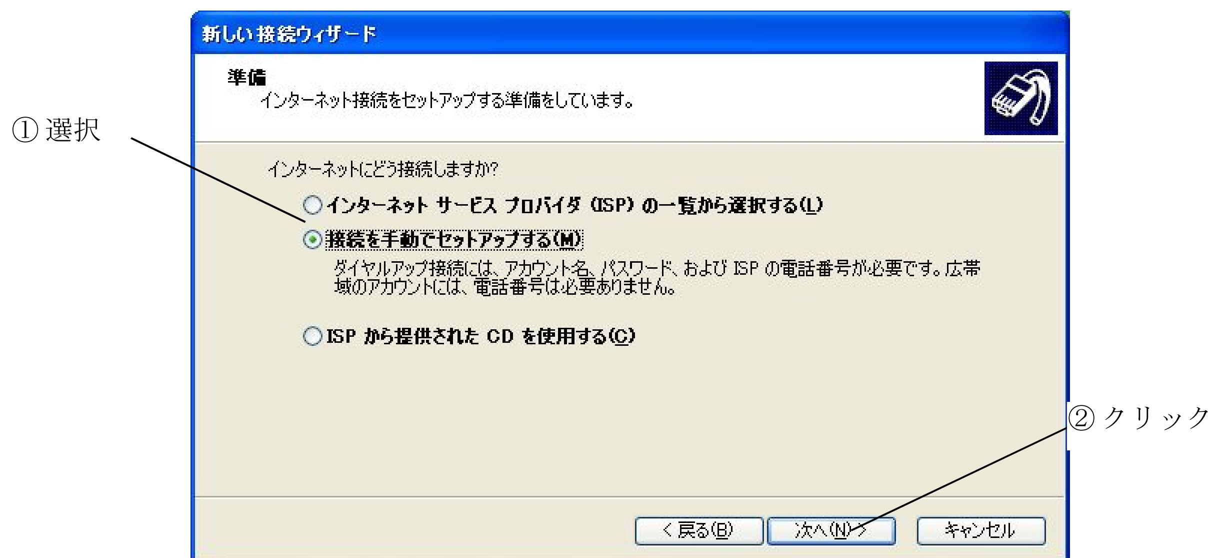
8．「インターネット接続ウィザード」の画面で、「次へ(N)」をクリックします。



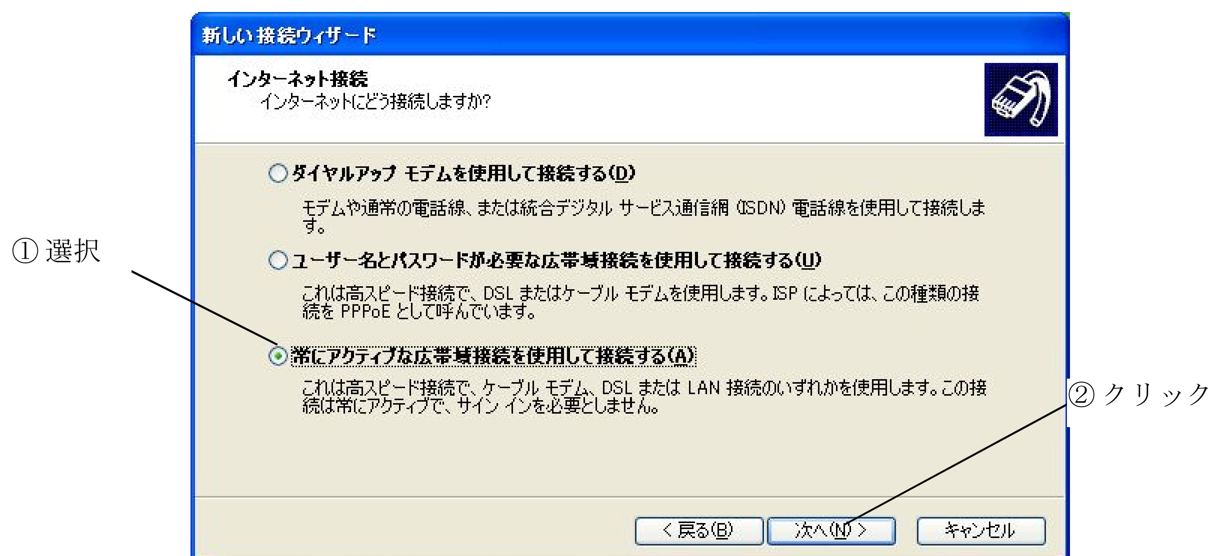
9．「インターネットに接続する(C)」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



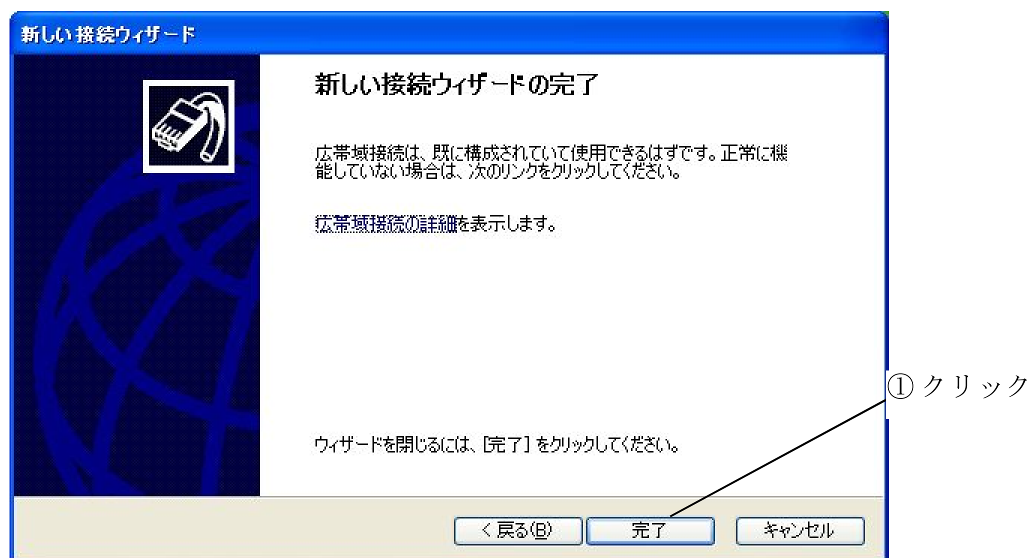
１０．「接続を手動でセットアップする(M)」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



１１．「常にアクティブな広帯域接続を使用して接続する(A)」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



１２．「完了」をクリックします。



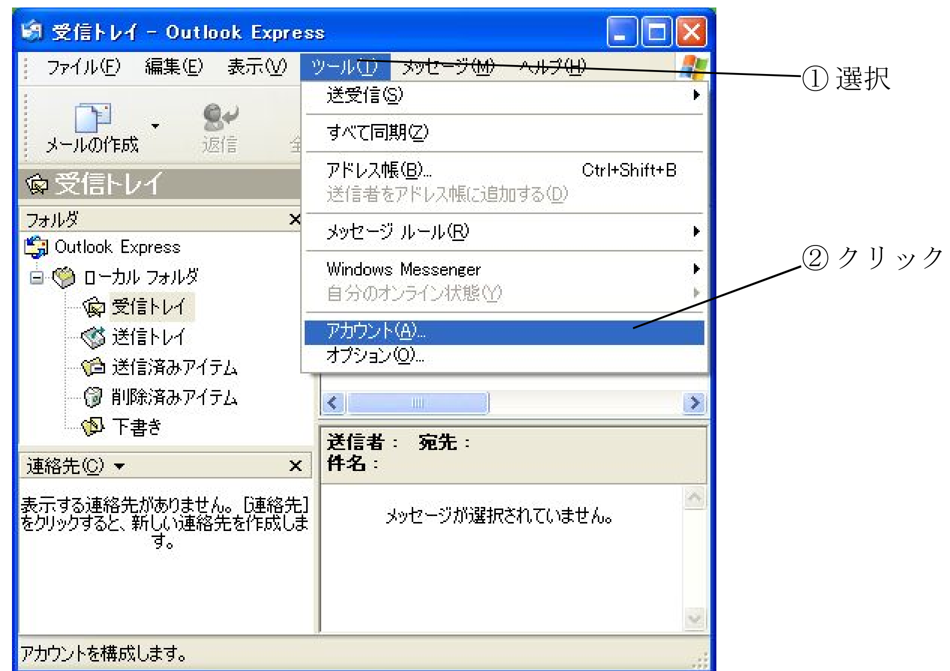
以上で「ブラウザ」の設定は完了です。

メールの設定

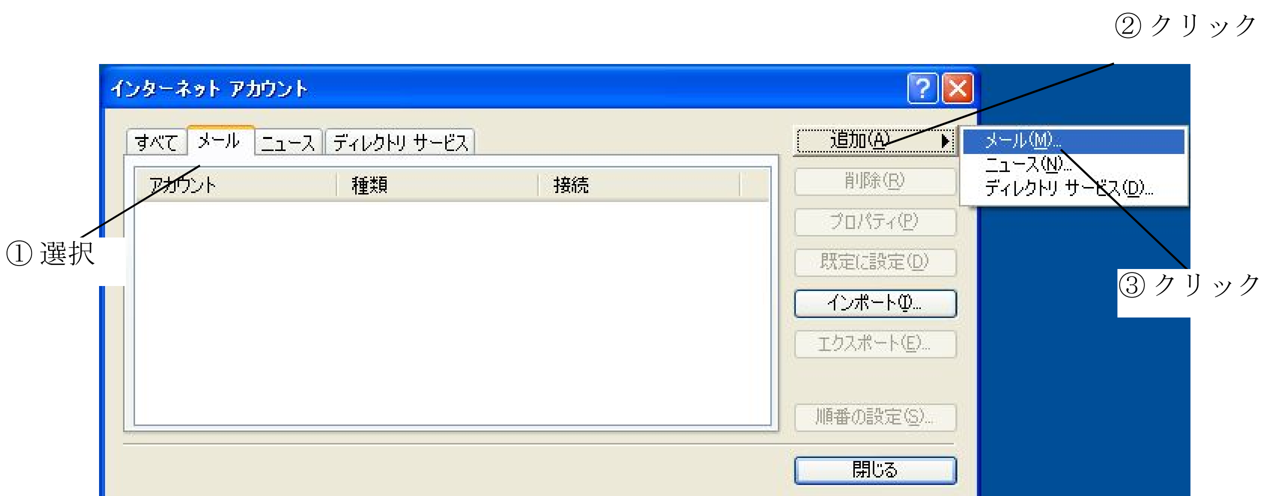
Outlook Express Version 6

「メール」の設定をはじめられる前に、LAN カードまたは LAN アダプタと TCP/IP の設定が正しく行われている必要があります。

1． Outlook Express を起動させ、「ツール(T)」をクリックし、プルダウンメニューから「アカウント(A)」を選択してクリックします。



2． 表示された「インターネットアカウント」の「メール」タグをクリックします。
「追加(A)」をクリックし、プルダウンメニューから「メール(M)」を選択してクリックします。



３．「表示名(D)」の欄に、差出人（ご自身のお名前やニックネームなど）を入力して、「次へ(N)」をクリックします。

インターネット接続ウィザード

名前

電子メールを送信するときに、名前が [送信者] のフィールドに表示されます。表示する名前を入力してください。

表示名(D): **** ****

例 : Taro Chofu

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

① 入力

② クリック

４．ご加入時にお渡ししている「登録確認書」を参照し、「電子メールアドレス(E)」の欄にメールアドレスを入力します。入力が終わりましたら、「次へ(N)」をクリックします。

インターネット接続ウィザード

インターネット電子メール アドレス

電子メールのアドレスは、ほかのユーザーがあなたに電子メールを送信するために使います。

電子メール アドレス(E): ****@ictnet.ne.jp

例 : t-chofu@microsoft.com

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

① 入力

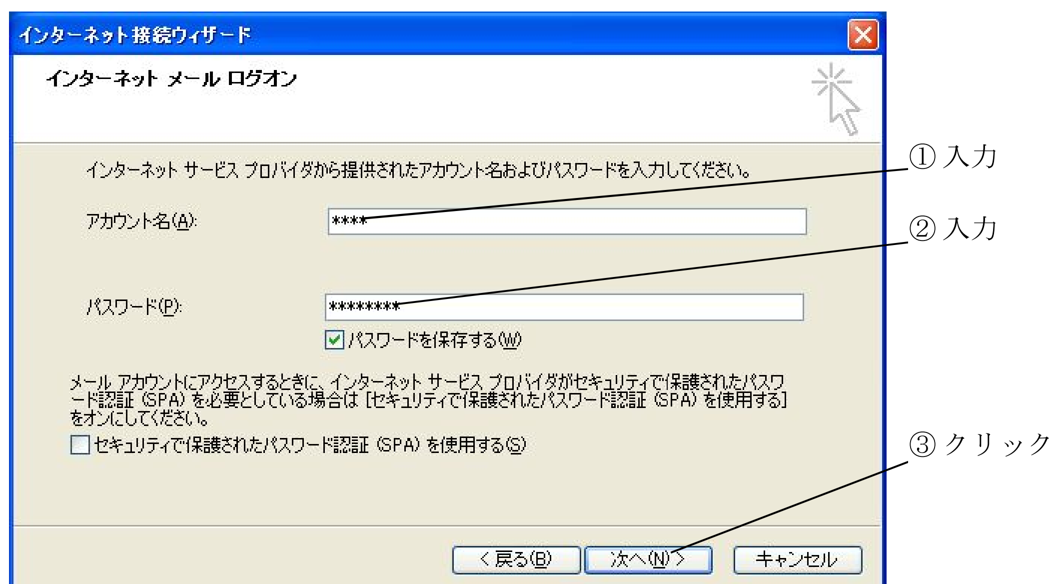
② クリック

5．「受信メールサーバーの種類(S)」は「POP3」を選択してください。
「受信メール(POP3 または IMAP)サーバー(I)」は、「登録確認書」の受信サーバー名を入力してください。
「送信メール(SMTP)サーバー(O)」は、「登録確認書」の送信サーバー名を入力してください。
入力が終わりましたら、「次へ(N)」をクリックします。

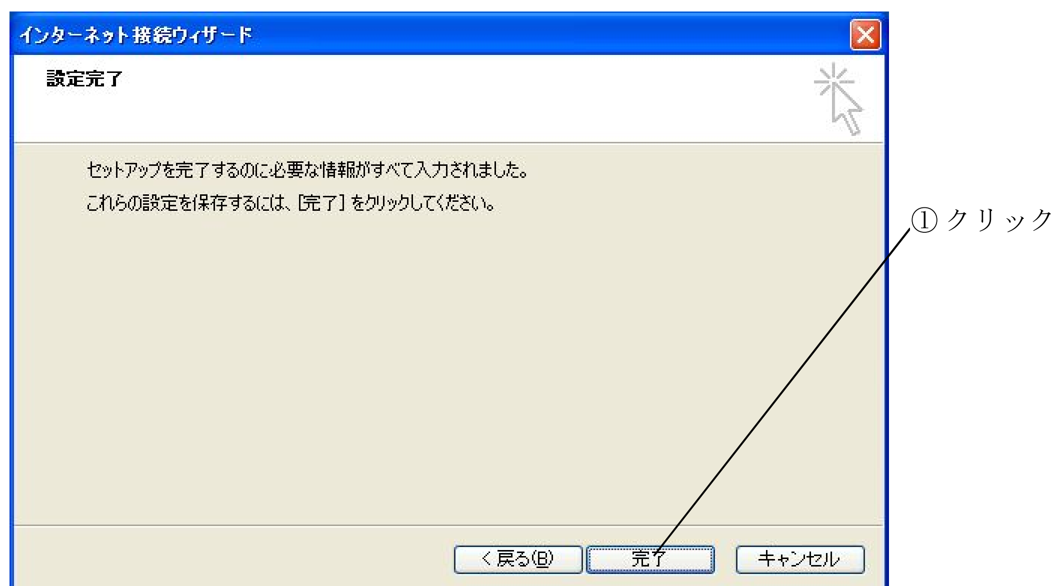


6．「アカウント名(A)」の欄に、アカウント名を入力してください。
「パスワード(P)」の欄にパスワードを入力してください。パスワードは入力を行なっても＊で表示されます。
アカウント名、パスワードは「登録確認書」に記載されています。

入力が終わりましたら、「次へ(N)」をクリックします。



7．「完了」をクリックします。



以上で「メール」の設定は完了です。